

サンゴ礁保護・保全に係るオニヒトデ駆除事業の強化を求める意見書

石垣島と西表島の間広がる日本で最大級のサンゴ礁域である石西礁湖を含む八重山諸島海域では国際的にも重要なサンゴ礁生態系が育まれております。また、世界のベストダイビングエリアとして3年連続で3位に選ばれるなど、サンゴ礁が織りなす魅力ある自然に誘われて毎年数多くの観光客やダイビング客等が訪れる貴重な観光資源となっており、八重山諸島周辺海域は、観光立国日本の名にふさわしい海洋資源であります。しかしながら、数年前からの温暖化によるサンゴ礁白化現象に加え、平成20年頃からはオニヒトデの異常大量発生が確認され、サンゴ礁やその海域にて生殖する生き物の生態系へも悪影響が懸念されております。

これまで、環境省や沖縄県をはじめとする各行政機関、更には八重山漁協やダイビング関係者等の多くのボランティアの方々の協力によってオニヒトデ駆除を積極的に行っているところであります。しかしながら、異常に大量発生したオニヒトデの数は一向に減少の兆しすら見えず、八重山諸島周辺海域ではオニヒトデの食害によるサンゴ礁への被害は拡大している現状であります。

サンゴは海藻等と同様に太陽光と二酸化炭素から栄養素を作り出し、生態系の基礎をなす生き物であり、沿岸部で生殖する魚や甲殻類等の漁獲物も減少し、水産業に与える影響も懸念されております。

このままでは、八重山諸島海域の貴重な自然景観の崩壊につながるとともに、本市経済へ与える影響の大きさは計り知れないものであります。そのことに対し、地域住民である石垣市民はもとより、水産業や観光産業に係る各関係機関や関係団体においては強い危機感を感じており、一刻も早い対応策が求められています。

よって本市議会は、世界に誇る八重山諸島海域のサンゴ礁生態系を後世へと引き継ぐため、また本市の主要産業である水産業や観光産業を支えるかけがえのないサンゴ礁海域であり続けるため、サンゴ礁の保護・保全に係るオニヒトデ駆除について、これまで以上の対策事業の強化に取り組んでいただくとともに、万全の措置を講じていただきますよう強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年12月27日

沖縄県石垣市議会

あて先

沖縄及び北方対策担当大臣、農林水産大臣、環境大臣、観光庁長官、
沖縄県知事、